



# さいいで発見! vol.1 「鎌田池周辺」



提供:坂出市立大橋記念図書館

ボート遊びをしている左の写真は昭和31(1956)年4月に撮影された鎌田池で、後ろの山は「常山」です。現在の写真と比べて見て下さい。



提供:坂出市立大橋記念図書館

左も同じ年に撮影された鎌田池で、手前の中池は昭和48(1973)年に埋め立てられ坂出中学校に生まれ変わりました。池の土手沿いの桜はこの頃植えられたとされていて、毎年春になると市内外から多くの人々が訪れ、満開の桜のアーチの下をゆっくりと散策しています。



明治20(1887)年、当時の福江村の有志が、鎌田池から北東すぐの丘陵地に村民の公園として「偕楽園」を開園(坂出市史より)。今はその面影はなく、森の中に記念碑が1基残っているだけです。



## 編集後記

阪神淡路大震災時は、防災上の観点より、「自助」「共助」「公助」が問われたが、今や高齢者・障がい者・子育て世代等への温かい支援の輪、つまり包括的に支える地域づくり、「地域共生社会」の必要性から、「自助」「近助」「共助・互助」「公助」が強調されているようです。これからの自治会・町内会からの共働きのスタンスは、まさに地域コミュニティ意識の啓発であり、近くの人が近くの人を助ける「近助」の精神から、同じ地域に住んでいる運命共同体であるお隣さん意識「共助・互助」の精神を育むことが重要です。具体的には、自分自身のまわりの人たちへの関心や愛着を持つことがまず基本であり、その活動は、あくまで自主的、自立的で、各地域の特性を踏まえての着実な環境づくりを図らなければならないと思います。(村井)

広報広聴委員会 委員長……出田泰三 副委員長……植原 泰  
委員……鳥飼年幸 若谷修治 村井孝彦  
若杉輝久 松成国宏 楠井常夫

## 表紙の写真

「明日へ」  
坂出高等学校3年 石井 優希さん

市外より、坂出市を含む瀬戸内海の風景を眺望しました。美しい夕日と行き交う船を眺め、「また明日もがんばろう。」との思いを込めてシャッターを切りました。

